



前倒しでやってみよう

今年の千葉県公立高校入試はコロナの影響も少しは落ち着き、天候にも恵まれて無事終了。大学入学共通テストの影響を受けてますます資料を読み取る力や読解力を求められるようになり、特に国語と英語が難しくなりました。理科と社会も会話文や図表などを読み取る量が増えています。しかし聞かれていることは教科書に載っている基本的な知識なので、私たちが作成した理社の予想問題を繰り返し解いた人は高得点を取ることができました。そして最後まで頑張り続けた国公立大学受験の人たちの入試も終わりました。あとは朗報を待つだけです。

さあ新年度が始まります。塾の場合は入試日程から逆算するので学校や会社よりも1か月早い3月開始。新高3は志望大学に合わせて個別に年間学習スケジュールの相談をしています。そんな時に中学生で少し気になることがありました。今回の期末テスト1日目に、その日すでに終わった科目の学校のワークを解いている人がいたのです。驚いて理由を聞くと、「明日までに提出しなければならないのに終わっていなかった」とのこと。なぜもっと前に提出しなかったと問うと「苦手な他の教科のことばかりやっていたから」だそうです。明日はその苦手な教科のテストなのにこれでは本末転倒。

ある経済雑誌でビジネスコンサルタントの方が定時で帰れる仕事の仕方をアドバイスしていました。ポイントは前倒しで仕事を進めること。常に締切りギリギリで仕事をしていると焦りが出てきて仕事が思うように進まないけれど常に前倒しで余裕を持って仕事をしていれば計画も立てやすい。余裕があるのでミスも少なくなるということです。ではどうすればいいのか。ひとつの方法として「やらないことリスト」を作り不要なことはやらないようにすることを勧めています。これを学習の場面に当てはめるとリストに載る項目はたくさんありそうです。テスト前になるとつい机の上の整理をしたくなるのは「中高生あるある」です。日頃からやっておけること、実はやらなくてもいいことを年度初めに洗い出しておきましょう！